



飯能ロータリークラブ会報

桜の中央公園と天覧山

© photo by Hiroyuki Maejima

RI会長 マーク・ダニエル・マローニー
2570地区ガバナー 鈴木秀憲
第3グループガバナー補佐 徳永真澄

ロータリーは世界をつなぐ

つなげる：未来へつなぐ 変化：変える（基本に戻る）

第2902例会 2020.4.1

—— 母子の健康月間 ——

天候 雨 (NO. 56-40)

会長 土屋 崇 幹事 中里 忠夫

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 吉田(健)君、矢島(巖)君

例会場：ホテル・ヘリテージ飯能sta.

☎ (042) 975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局：東京電力パワーグリッド㈱川越支社飯能事務所内 〒357-0021 飯能市双柳353-4

☎ (042) 974-3111(代) FAX (042) 973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@titan.ocn.ne.jp

- ・点 鐘 土屋会長
- ・ソング 君が代 奉仕の理想 四つのテスト
- ・卓 話 西藏ツワン様

【会長報告】

小池都知事、大野県知事より週末の外出自粛の要請があり急遽、55周年の実行委員長を中心に集まり記念例会は中止となりました。FAX通知だけでしたので、来られてしまう方も居るのではと、当日会場に詰めておりましたが間違っていた方は一人もいらっしゃいませんでした。お渡しする予定だった記念品と記念誌を、本日委員の方に用意して頂きましたのでお持ち帰り頂きたいと思っております。

志村けんさんが亡くなったり(3/29)、感染が広がっていて、飯能日高合同親睦ゴルフコンペ、親睦旅行も本日理事会で中止を決定。「4月以降の例会の予定について」をご覧ください。今後も状況により判断する事になります。

55周年記念の、飯能RCから飯能市への50万円の寄付に対し、今井教育長、緑の基金より御礼状、受領証。今後、市の活動に役立てたいとの事です。

ポリオプラス基金への寄付に対し、地区ロータリー財団より礼状が届いております。

米山記念奨学生の委嘱状が飯能RCおよびカウンセラーの大野康会員に届いておりますので贈呈致します。



【幹事報告】

第11回理事会を本日開催。今後の予定をご覧ください。新入会予定者2名へのご意見は4月末まで。5/2・3新会議所への引越しの応援をして頂ける方も幹事までご連絡下さい。

【委員会報告】

◎55周年実行委員会委員長 神田(康)君
3/26、17時、埼玉県の県知事から週末の外出自粛の要請が出た段階で、実行委員会は「55周年記念

例会」の中止を決定し、FAXで至急通知しました。出席を予定されていたご夫人方にはご迷惑をお掛けし心よりお詫び申し上げます。記念例会でけじめをつける事は叶いませんでしたが、本日、記念誌1冊と記念品「マグカップ」2個、サッカー大会の様子と飯能RCの歴史を収録した記念DVD[中里(昌)バスト会長制作。当日上映予定だったもの]をお持ち帰り下さい。



不具合等は事務局まで。会員によるバンド演奏はどこかの機会に拝見したいと思います。事務局の西川さん、西脇さんに感謝状と記念品等を贈呈します(拍手)。

◎親睦活動委員会 中山君
4/16コンペ、5/17親睦旅行は中止します。

◎次年度幹事 森君
5/20次年度役員委員長会議、出欠はFAXにて。6/3・4・5次年度座談会。全員参加のため日程変更、欠席の方のみFAXして下さい。名簿の修正等も期限内にお願いします。

【出席報告】MU・無届欠席0 天ヶ瀬出席向上委員

会員数		当日		前々回修正出席率
全数	対象	出席数	出席率	
58名	5名	53名	91.38%	地区大会振替休会 為修正はありません

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

・西藏先生、卓話よろしくお願ひ致します。

小川君、加藤君、都築君、森君、和泉君
・早退します。 大野(康)君

本日計10,000円、累計額771,502円。

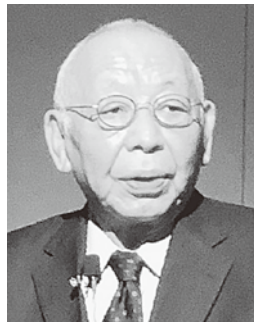
◎5月20日例会当番は吉田(行)、吉澤会員です。

【卓 話】

講師紹介

都築雑誌委員

武蔵台病院院長、「飯能・チベットを知る会」会長。1952年、チベット生まれ。中国がチベットに侵略したため、1962年、10才でインドに亡命。インドのチベット難民センターに収容され、英国系の学校で学ばれます。1965年、13才の時に当時の毛呂病院理事長・丸木清美先生の働きかけで来日し、日本語を猛勉強され、毛呂山の中学を卒業後、飯能高校から埼玉医大に進学。私は飯高時代の同窓で、高3の夏休みには西藏先生ともう一人の友人と3人で北海道一周無銭旅行をした思い出があります。1987年に帰化。名字を、チベットを意味する「西藏」とされました。



不信感を抱いたとおっしゃっています。一方で、周恩来は国際的な視野が広く、非常に話し易かったそうです。

結果的には交渉がうまくいかず、法王は1959年、インドに亡命。その時、約600人の難民がヒマラヤを越えてインドに亡命しました。翌年、法王は、北インドにネルー首相の支援を得て亡命政権を構築します。当時、インド、ネパール各地には50近い難民キャンプがあったようですが、法王は若い時から精力的に各地を回られ、難民を励まし、生活基盤、教育、チベットの文化や伝統の再建に貢献されました。それから60年が経ち、今、かつてのキャンプ地は僧院を建て、チベットのコミュニティーとして立派になっているそうです。

ダライ・ラマ14世について

武蔵台病院 病院長 西藏ツワン様

私は医学生の際に越生毛呂RCで米山奨学生としてお世話になりました。改めて御礼申し上げます。

今回の危機は人類に対する試練かと思いますが、一方で、パリ、ニューデリー、北京等では大気汚染が無くなってきています。これを機に、今まで人類が走り過ぎた中で見えていないものがあつたという事を認識する、そういうポジティブなところもお考えになった方がいいのかなと思っています。

本日の例会開催も一つの挑戦であり、皆さんの覚悟に敬意を表したいと思います。

皆さんはダライ・ラマをどういうイメージでお考えになっているのでしょうか。

一般的には、一つは宗教家、精神指導者であり、国際政治においては政治家で、「僧衣を着た狼」との評価もあります。外国訪問の中では最多、20数回に及ぶ来日の度に、私は法王に接し、日本の事や日本人の考え方等について報告する機会がたくさんありました。また、いろいろな事を教えて頂きました。

法王は、「自分は70億人の中の一人の人間で、一介の僧である。特別な存在ではない」という視点で活動されています。

「ダライ・ラマ」という称号は13世紀にチンギス・ハーンが与えたものとされ、「ダライ」はモンゴル語で「大きな海」(智慧と学識が海のように深く広く)、「ラマ」はチベット語で「導師」の意です。法名/本名はテンジン・ギャツォと言います。「テンジン」はチンギス・ハーンの本名で、歴代ダライ・ラマの法名には必ず、最初に「テンジン」が付きます。

16世紀にフビライ・ハーンがチベット仏教を国教にしてからは、チベットとモンゴル帝国は寺と檀家のような関係で、チベット人だけでなくモンゴルの人達にとってもダライ・ラマ法王は「観音菩薩の化身」「生き仏」のような存在で、チベット人以上にダライ・ラマを崇拝するモンゴル人も居ります。

12世以前の法王の写真は無く、亡くなられると遺体は黄金の仏塔の中に入れられ、ラサのポタラ宮に保存されます。

世襲ではなく“生まれ変わる”という事なので、チベット独特の複雑なプロセスで認定されます。先代の13世は1933年に亡くなり、今の法王はその2年後に14世として認定を受けました。5才でポタラ宮殿にお迎えして、16才で正式に政治・宗教の最高指導者となりました。それまでの間は、帝王学、仏教等を勉強して、撰閣政治を行います。

1949年に中国共産党が設立。中国軍がチベットに入り、20才を過ぎてまもなくから法王は国際政治の中で翻弄されるようになります。チベットがまだ独立国家だった1955年に毛沢東、周恩来と交渉。1957年にはチベットの問題の解決に協力して欲しいという事でインド首相のネルーと交渉。若くして多忙な時を経験されます。

最初に毛沢東と会った時、毛は、共産主義が如何に平等で平和かを説き、法王は「共産主義もいいな」と思ったのだそうですが、最後に耳元で「宗教をやりするな。毒になるから」と言われたため、毛には

それまではインド国内だけの支援活動でしたが、1967年以降は海外に出られ、チベットの問題をいろいろなかたちで訴えておられます。仏教の話をされ、また、各宗派の指導者との対話も大切にされています。

「宗教はどれも愛を説く。同じテーマであるにもかかわらず、戦争が続くのは何故だろうか」といつもおっしゃっています。ローマ法王、ブッシュ大統領とは個人的にも親しく、政治的な話だけでなく人間の心の話をされたりしました。

法王はまもなく86才になるのですが、2011年に最高指導者から退かれ、現在、政治家としては引退されています。日本国内で政治的な発言をすると日本政府に迷惑がかかるとおっしゃって、常に気を遣われています。講演では主に「内なる心をどうするか」という事についてお話されます。飾らないお人柄で、話をする前にまず相手を笑わせ、それから相手の本心を引き出すという事をよくなさいます。

1989年、ノーベル平和賞受賞。その後も、米国会議からの勲章や世界各地で名誉学位を受け、著作は100冊以上に上ります。

1967年、法王にとつての初めての外遊は日本でした。当時、私は毛呂山中学の2年生だったのですが、チベット人留学生を海外で目にされたのは僕らが初めてだと思います。そういう意味で、私達に対して非常に親近感をもち続けて下さっているのだらうと思います。

2000年、埼玉医大に講演に来られ、「光の家療育センター」を訪問。私も光の家に5年程居たので、ご案内しました。2016年11月26日、国際医療センターで講演。その日は前日の25日に丸木清浩名誉理事長が逝去されるという、特別の日でもありました。「仏教を21世紀の仏教にしなければいけない」「仏典を正しく理解する事。仏典には哲学が入っている」と法王はおっしゃいます。「仏教科学」という事で、ここ30年は物理学者、脳学者との対話が続いています。また、ナーランダー僧院(5世紀創建の大学)の哲学書の研究も奨励されています。

法王は「93才まで生きる」とおっしゃっていますが、中国政府は“次のダライ・ラマ”を非常に気にしていて、今後もこの話題は必ず出ると思います。

令和2年5月のプログラム (月間テーマ 青少年奉仕月間)

月 日	例会数	行 事 予 定	当 番 [担当委員会]
5. 6	2,907	例会 取消 (法定休日)	
5.13	2,908	例会 取消	
5.20	2,909	卓話「(未定)」 飯能商工会議所青年部 齊藤 貢様 次年度会長	吉田(衍)君 吉澤君 [プログラム]
5.27	2,910	卓話「飯能市教育四方山話」 飯能市教育長 今井直己様	西澤君 大津君 [結婚・誕生日祝]【雑誌紹介】 青少年奉仕